

リコール情報

令和6年7月10日届出 令和6年7月11日作業開始 リコール届出番号 外-3838

この度は大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。対象車両をお持ちのお客様には、誠に恐縮ではございますが、速やかに作業(無料)に取りかからせて頂きたいと考えておりますので、ご協力の程お願い申し上げます。

1. 不具合の内容

大型トラクタの2軸式カプラにおいて、製造工程の作業性改善で設計変更したロックガード(誤連結防止部品)の形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さが合っていない状態で連結操作を行うと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、運転席センタパネル内に連結完了を示す連結確認ランプが点灯することがあります。そのため、目視による連結状態の確認をしないまま使用を続けると、走行中にトラクタとトレーラが分離するおそれがあります

2. 改善の内容

ロックガードの形状を確認し、交換対象の場合はロックガードを対策品と交換し、ジョー上面とロックガードR部頂点を計測の上、必要に応じて調整いたします。なお、対策品に交換するまでの間、使用者へ連結操作時にトラクタとトレーラの高さを合わせる事、および完了後に連結状態を目視確認することを周知いたします。

リコール作業を実施頂くまでは次ページの“連結手順と確認のお願い”を運行の度に必ずご対応頂けるようお願いいたします。

3. 対象車両:79台

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
ボルボ	2DG-5S4TBA1	「FH」	YV2RT60D2NA303454 ~ YV2RT60D8PA336851 令和4年8月8日 ~ 令和5年11月21日	69	
	2DG-5S4TBL1		YV2RT60D2NA303714 令和4年8月8日	1	
	2DG-5S4TCA1		YV2RT60D3PA319939 ~ YV2RT60D1PA336674 令和5年4月3日 ~ 令和5年11月21日	9	
	(計3型式)	(1車種)	(輸入期間の全体の範囲) 令和4年8月8日 ~ 令和5年11月21日	79台	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

交換修理用部品が、組付けられた車両の範囲

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
ボルボ	不明	「FH」	YV2AM20D2DA745345 平成25年3月27日	1	
			合計	1台	

交換修理用部品として出荷し、組付けられた車両が特定できないもの

対象の製品名	部品番号	対象部品の出荷期間	対象部品数	備考
カプラ	51100-01Z79	令和5年11月11日	1	

交換修理用部品が組付けられた車両は、同様の改善を実施する。

※対象車に含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれます。

※対象車の輸入期間はご購入の時期とは異なります。

お客様のお車が対象車両かどうかにつきましては、ご購入いただいた又は整備を依頼しているボルボ・トラック正規ディーラーへお問い合わせください。

お客様へのお願い

* 連結手順の順守をお願いいたします。

株式会社ソーシン

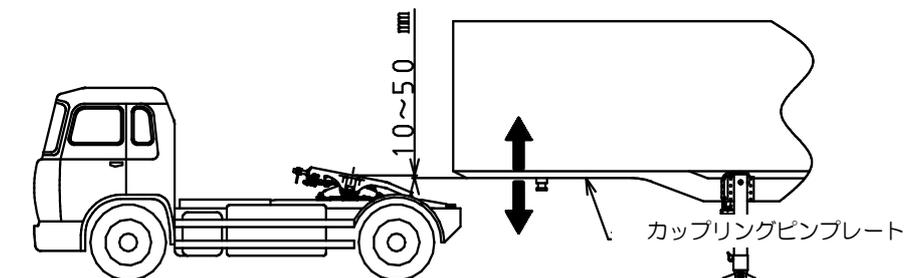
警告 カプラは輸送の安全確保にとって極めて重要な装置です。
あなたや他の人への危害や、財産への損害につながる事故を未然に防止する為にも
以下の手順を確実に確認してください。

連結前準備

連結前にトレーラのランディングギヤを操作して、トレーラ下面の高さを
カプラ中心の上面高さより10~50mm低い位置に合わせて下さい。

警告

高さ違いでの連結が発生してしまうと
トレーラ外れによる重大事故の発生につながります、必ず連結前準備を順守願います。



連結確認

正しく連結されたかの確認は必ず車両から降り、目視での確認を実施して下さい。

カプラー上面とトレーラ下面に隙間が無く密着していることを確認してください。



摺動面とカップリングピンプレートが隙間なく密着



誤連結事例

カプラー上面とトレーラ下面に
隙間がある状態はNG
→再度連結をお願いします。

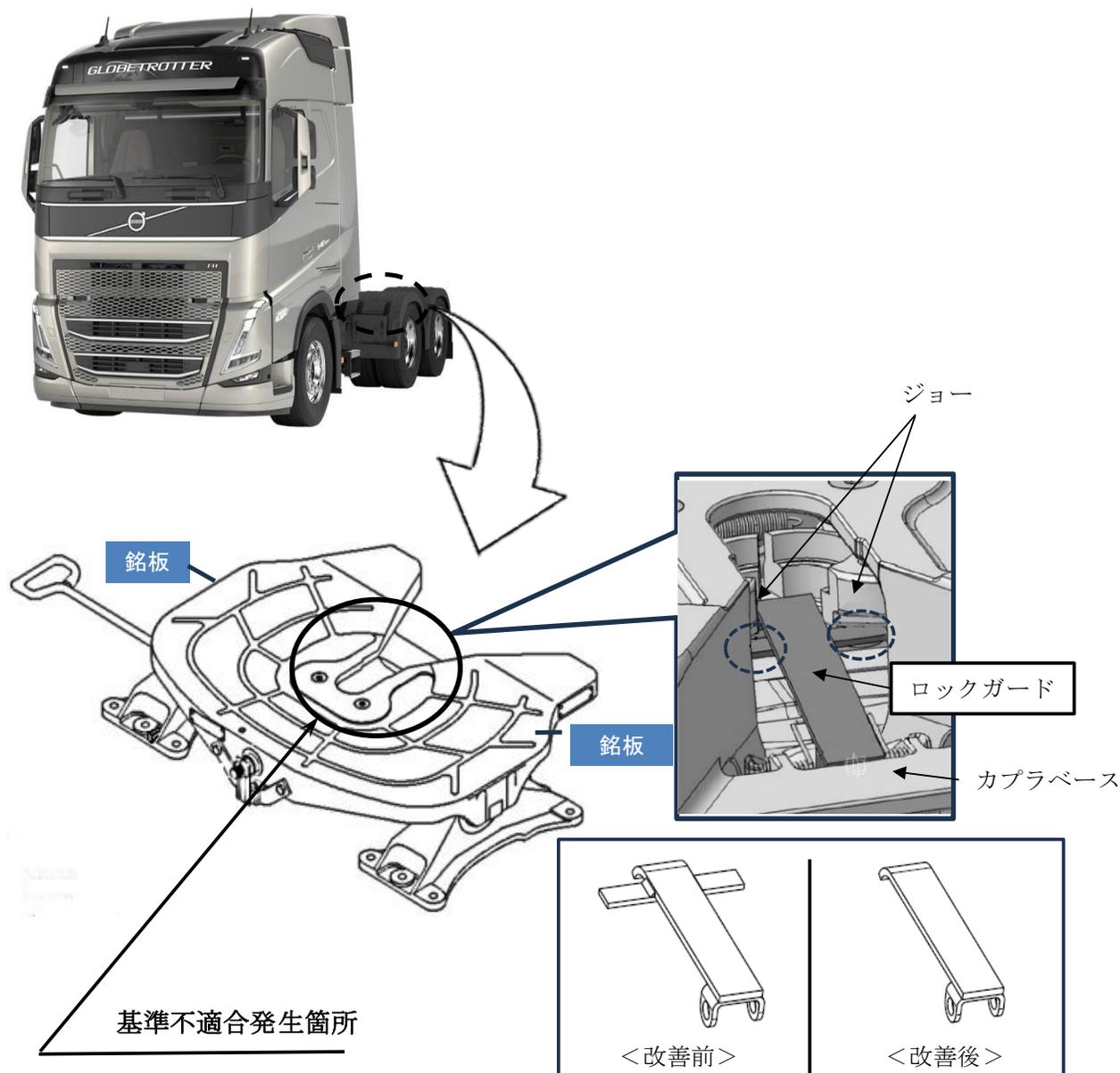


警告

目視による連結確認をしないと、連結上の異常が
生じても判らないまま走行となり、トレーラが外れて重大事故につながります。
必ず目視確認を実施願います。

(夜間時など見えづらい場合は、ライト等を使用しての確認をお願いいたします。)

改善箇所説明図



大型トラックの2軸式カップラにおいて、製造工程の作業性改善で設計変更したロックガード（誤連結防止部品）の形状が不適切なため、トラックとトレーラの高さが合っていない状態で連結操作を行うと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、運転席センタパネル内に連結完了を示す連結確認ランプが点灯することがある。そのため、目視による連結状態の確認をしないまま使用を続けると、走行中にトラックとトレーラが分離するおそれがある。

改善の内容

全車両、ロックガードの形状を確認し、交換対象の場合はロックガードを対策品と交換し、ジョー上面とロックガードR部頂点を計測の上、必要に応じて調整する。なお、対策品に交換するまでの間、使用者へ連結操作時にトラックとトレーラの高さを合わせることを、および完了後に連結状態を目視確認することを周知する。

注：  は、交換部品を示す。

識別: 連結装置左後方または右側方の銘板に白色ペイントを塗布する。